

2021年6月10日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社
株式会社 Doog

ブルーイノベーションと Doog が業務提携、 移動ロボットの自動制御・連携による法人向けソリューションを共同開発

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)と、株式会社 Doog(本社:茨城県つくば市、代表取締役 大島 章、以下 Doog)は、このたび移動ロボットを活用した法人向けソリューションの共同開発において業務提携しました。

この提携により、ロボットやドローン、各種センサーなどのデバイスを遠隔・目視外で自動制御・連携させるブルーイノベーションのデバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform(以下、BEP)」と、その多様環境対応性や運用のしやすさ、柔軟なカスタマイズ性から国内外において豊富な導入実績を持つDoogの自動走行ベースユニット「サウザーシリーズ」を連携させ、物流や点検、警備などにおけるオートメーション化、DX化をはじめとした法人向けソリューションの共同開発を進めます。



×



■共同開発の狙い

ブルーイノベーションはこれまで、複数のドローンを遠隔・目視外で自動制御・連携させ、様々な業務を自動遂行させる独自のデバイス統合プラットフォーム「Blue Earth Platform(BEP)^{*1}」の開発を進めてきました。近年では、DX化やオートメーション化への対応といったさらなる顧客要求に応えるべく、“One Command, Cross-devise, All Missions.”をテーマにロボットや各種センサーなども加えた総合的なデバイス統合プラットフォームとして開発を強化しています。

その中で、点検や物流など対象業務に合わせてBEPの機能やデバイスを組み合わせ最適化した「業務・目的別BEPパッケージ^{*2}」を開発し、任意の業務における作業効率の改善や安全性の確保など、さまざまなソリューションを提供しています。

一方、Doogは移動ロボットの汎用ベースユニットである「サウザーシリーズ^{※3}」の開発、製造、販売を行っています。サウザーシリーズは、運用の簡単さやカスタマイズ性が高く評価されており、製造現場、物流倉庫だけでなく、鉄道・航空整備場や、施設内バックヤード搬送、工事現場や建築現場、農業など様々なフィールドで活用されています。

また、レーザセンサーによる高精度な障害物検知・衝突回避の能力を有しているため、一般の人が行き交うサービス現場でも導入されており、空港、ホテル、図書館、介護といったフィールドにおいても活用できる汎用的な移動ロボットです。さらに、自動追従機能、手動操縦機能、ライントレース機能(ハイウェイ機能)、メモリトレース機能など複数の動作形態を組み合わせることで運用できるため、周辺機器やシステムのカスタマイズ性と合わせることで各現場に最適な運用を構築することができます。

これら両社の技術や製品、ノウハウを融合し、BEPにより複数台のサウザーシリーズを同時に、かつ複数台を自動制御・連携させることで、物流や点検、警備などのB to B領域において移動ロボット単体では成し得なかったソリューション開発を積極的に進め、業務のオートメーション化やDX化の実現、ひいては事業課題の解決に貢献していきます。

■両社代表コメント

ブルーイノベーションは、2027ビジョンに「ドローン・ロボットを通じて、世界に貢献するグローバルカンパニーになる」を掲げており、今までのドローンを中心としたソリューションからロボットという広義なデバイスを活用したソリューション開発、サービス展開を進めています。特に、屋内空間でのソリューションを開発し、様々なロボットの適用を検証する中で、Doogのサウザーシリーズの技術力の高さに感銘を受け、またブルーイノベーションのBEPとの連携によるシナジー効果の高さが明確になり、両社が提携することで、大きなイノベーションを引き起こす可能性が高いと確信し、提携、共同開発する運びとなりました。Doogの大島社長も、ソリューションの実証実験の現場に自ら参加し、開発へフィードバックするなど、ロボットづくりへの情熱は素晴らしく、今回の共同開発では、間違いなく、今迄のロボットによるソリューションの概念を大きく変え、導入のお客様へ大きく貢献することになると思いますので、今後のサービスのローンチをご期待ください。

(ブルーイノベーション 代表取締役社長 熊田 貴之)

ドローンを始めとして各種機器を統合したソリューション構築においてとても高い実力や知見を有するブルーイノベーションが当社のロボットを認めてくれたことを心より嬉しく思っています。

当社では様々な強みを持つパートナー事業者との連携を拡げてゆくことで、サウザーシリーズを社会の隅々へ届ける事業をしています。サウザーは多彩な機能とカスタマイズ性をパートナー事業者に活かして頂くことで、各業界・業務において生産性や働きやすさの向上に繋げてゆくことが出来るベースユニットです。本提携によって両社が持つ技術力や課題解決力を結集し、より良いソリューションを産み出すために一層の加速をし、BEPと共にサウザーを進化させてゆけることがとても楽しみです。

また、サウザーを既に導入頂いているお客様や、既存のパートナー事業者におかれましても、本提携の成果によって新しい選択肢が拡がり、サウザーの持つ可能性がさらに高まることをご期待いただきたいです。

(Doog 代表取締役 大島 章)

※1. Blue Earth Platform(BEP)は、ミッションをベースに複数のドローンやロボット、各種デバイスを遠隔・目視外で自動制御・連携させることができる、ブルーイノベーション独自のデバイス統合プラットフォームです。複数のドローンやロボットを BEP で統合管理し、さらに各種OSやシステムと連携させることで、単体では成し得なかった広域での任意・複数のミッションを同時に遂行します。

詳細はこちら(<https://www.blue-i.co.jp/advantage/bep/>)をご覧ください。



※2. 業務・目的別BEPパッケージは、対象業務に合わせてBEPが持つ機能やドローン、ロボット、各種デバイスをパッケージにしたソリューションです。毎回煩雑な設定や操作をすることなく、BEP からのひとつの指示で自動的に業務を遂行するため、点検や物流、警備などこれまで人が行ってきた作業の自動化や最適化、安全性の確保をスマートに実現します。



※3. サウザーシリーズは、Doog 独自のアルゴリズムにより高度で安全な自律移動を実現している移動ロボットの汎用ベースユニットです。荷台に 120kg の荷物を積載可能なサウザーのほか、大型機のサウザージャイアント、小型機のサウザーミニなどをラインナップしています。2020 年度には第9回ロボット大賞の中小・ベンチャー企業賞と、日本ロボット学会の第25 回実用化技術賞のダブル受賞をされており業界内において高く評価されています。

詳細はこちら(<https://doog-inc.com/type-transport/>)をご覧ください。



■ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)

1999年6月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームである Blue Earth Platform(BEP)を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。 <http://www.blue-i.co.jp/>

- ・プラント・工場・公共インフラ DX ソリューション(スマート点検、3D モデル化など)
- ・通信インフラ・フィールドメンテナンスソリューション(送電線・携帯基地局点検、森林測量など)
- ・流通・物流 DX ソリューション(倉庫内在庫管理、物流など)
- ・スマートオフィスソリューション(警備・防犯、監視など)
- ・人材育成・トレーニングソリューション(社内人材育成、子ども向けプログラミング、JUIDA ライセンス教育など)

■株式会社 Doog(茨城県つくば市)

2012年11月設立。汎用移動ロボットの専門メーカーとして、人が仕事や生活をする近くで安全で確実に動作する移動ロボットを開発・製造・販売しています。 <https://doog-inc.com/>

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 PR マーケティング部

TEL:03-6801-8781 E-mail:press@blue-i.co.jp

株式会社 Doog 広報担当

E-mail:web@doog-inc.com